

公表

事業所における自己評価結果（放課後デイサービス）

事業所名	Sonseed					公表日 2025年2月26日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		・指導訓練室は1階と2階を利用し基礎運動や体を動かすことのできるスペースである。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	・安全やサービスを低下させない人数である。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・視覚的に見守りやすく安全に配慮されている。	・階段の上り下りに注意する必要がある。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		・常に掃除や消毒を行い、清潔な環境を維持している。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・部屋が複数あり個別の部屋や場所を使用できる環境になっている。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		・PDCAサイクルを心がけ毎日のミーティングにおいて現状把握、課題の抽出、業務の見直しを図りレベルを高めている。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・保護者向け評価表による評価と公表を実施し、改善に努めている。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・事業所入口横に掲示し公表している。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		Web研修や事業所内研修を行っている。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		事業所入口横に掲示し公表している。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		・保護者のニーズを踏まえ、実態を把握しながら支援計画を作成している。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・支援に関わる職員が支援計画の内容を意識しながら適切に支援を実施している。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・定期的な会議を行い職員間で共有されている		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		・子どもの実態に即した目標の設定・具体的な支援内容を明確にする為にインフォーマルなアセスメントを使用確認している。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		・ガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に則した支援内容を個別支援計画に表記している。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・行事や集団活動、制作は指導員全員で取り組んでいる。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・基本的な活動プログラムは決められているが季節の行事や野外活動なども取り入れている。		
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		・個別の課題、集団の中での育ちを踏まえて支援計画を作成している。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・朝会支援内容を確認している。		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		・支援終了後職員ミーティングを行いその日の支援の振り返りで気付いた点を共有している。		

	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・毎日支援内容を記録し改善に繋げている。	
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・6ヶ月に1度見直しを行っている。 ・定期的にモニタリングを実施し効果検証を行い必要があれば支援計画の見直しを行っている	
	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9		・①自立支援と日常生活の為の活動②創作活動③地域交流④余暇活動など基本活動に基づいた療育支援を行っている。	
	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		・人生を自主的に生きて行く為に、自己選択自己決定の機会を増やし責任を持てるようサポートする。	
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・児童発達支援管理責任者が出席している。	
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		・市の福祉課障害者支援係や協力医療機関、障害福祉事業所、保育園学校等の関係機関と連携し支援体制を確立している。	
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		・保護者を通して情報を得ているが、学校主催の連携会議は行われていない為必要に応じ連絡を取り合っている。	
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		・必要に応じ情報共有を行っている。	・必要に応じ生育歴などの確認、保育所等への聞き取りは行うが全員ではない。
	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1		・該当者がいない。
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		・子ども部会で児童発達支援センターから助言を受ける機会がある。	
	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	1		・療育時間が限られていて活動の交流は難しい。
	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	・要請があれば参加している。	
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・毎回活動後保護者の方へHUGにより活動内容を報告している。	
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		・ペアレン特レーニングは行っていないが質問を受けた場合は都度対応している。	・今後定期的に開催できるよう次年度の年間計画に盛り込む。
	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・運営規程、支援プログラム、利用者負担等契約時に説明を行っている。	
保護者への説明等	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・担当者会議により、子どもの最善の利益を考慮し、家族の意向を確認し計画を作成している。	
	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		・単年を目安に定期的にモニタリングを行い支援内容を説明し同意を得ている。	
	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・保護者から相談があれば話を伺い相談支援を行っている。	
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1		・父母の会や保護者会等は行われていない。
	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・重要事項説明書に苦情相談窓口を明記し契約時に説明を行っている。	
	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		・毎月1回会報（preseed・sonseedなど）を発行し保護者に発信している。	
	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・個人情報使用および写真撮影同意書を契約時に取得している。 ・個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管している。	
	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		・写真や絵を使った視覚的支援を行い情報伝達がスムーズに行えるよう対応している。	
	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		・年に1回マルシェを開催している。	
	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		・各マニュアルは常時閲覧できる状態にしている。	

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・施設での訓練の想定を都度変え定期的に実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		・児童台帳の健康状況を確認し必要に応じて保護者へ聞き取りを行う。	・再度意識を高め共通認識を図る。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		・児童台帳によりアレルギーの有無を確認している。	・再度意識を高め共通認識を図る。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		・安全計画を作成し、研修や訓練を行い、安全管理がされた中で支援を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		・安全管理計画に関する内容を施設入り口横に掲示し周知を図っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	・危険な事例があった場合報告書を作成し、ミーティングを通じ職員で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・Web研修や事業所内研修を行い研修内容を共有している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		・契約時に緊急やむ得ない身体拘束に関する説明と同意書を得ている。	